

令和5年度 学校経営方針

I 学校経営全体構想

【学校教育目標】

○基本目標

「確かな学力を身に付けた、心身ともに健康で、たくましく生きる児童の育成」

○具体目標

- | | |
|---------------------|-----------|
| すず：進んで学び、やりぬく子 | (知) かしこく |
| か：考えて行動し、やさしい心をもった子 | (徳) やさしく |
| け：健康で、明るく元気な子 | (体) たくましく |

【めざす学校像】

- 1 確かな学力が身に付く学校
- 2 豊かな人間性が育まれる学校
- 3 健やかな心と体が育まれる学校
- 4 生き抜く力を培える学校

【めざす児童像と教師像】

めざす児童像	めざす教師像
○ 明るくたくましい子ども	◎ 使命感・情熱をもち 信頼される教職員
○ 主体的によく学ぶ子ども	◎ 同僚性・協調性のある教職員
○ 助け合い励まし合う子ども	◎ 子どもと共に伸びる教職員

II 学校経営目標(3つの柱)

- (1) 心の居場所のある安心・安全な学校 (心づくり)
- (2) 確かな学びで主体性を高める学校 (授業づくり)
- (3) 地域と共にある 信頼される学校 (体制づくり)

【学校経営方針】

- ① 子どもたち一人一人が安心・安全で、地域から信頼される学校。
- ② 教職員、保護者、地域が「風通しのよい」学校。
- ③ 「認め、ほめ、励ます」方針のもと、自己肯定感を高める積極的な生徒指導を推進し、子供たち一人一人が自信をもつ学校。
- ④ 新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」に向け、授業改善を積極的に推進する学校。
- ⑤ 教職員が教育公務員としての自覚と責任をもち、信頼される学校。

III 具体的重点目標

確かな学力の育成	豊かな人間性の育成	健やかな体の育成
○GIGAスクール構想 ・職員のICT活用スキルの向上 ○「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ・ICTを活用した授業改善 ・「はばプラⅡ」の活用 ○1単位時間の授業の充実 ・「資質、能力」の明確化 ・児童主体の「めあて」の設定 ・効果的な言語活動の設定 ・思いを伝え合う活動の充実 ・「振り返り」活動の充実 ○特別支援教育の充実	○あいさつの徹底 ○正しい言葉遣い ・言語環境の整備 ○規範意識の向上 ○安全、防災教育の充実 ○望ましい集団活動の育成 ・異年齢交流活動の活性化 ○自尊感情の向上 ・特別活動の充実 ・道徳教育の充実・改善 ○人権教育の推進 ○いじめの根絶 ・人権感覚の涵養 ・早期発見、早期対応 ○キャリア教育の充実	○「早寝 早起き 朝ご飯」 ・規則正しい生活 ・生活のリズムの確立 ○魅力的な体育授業づくり ・重点単元の設定 ・運動の楽しさの体感 ・運動の日常化 ・外遊びの推奨・奨励 ○健康教育の充実 ・自己管理能力 ・食物アレルギーの共通理解 ○食育の推進 ・栄養教諭の給食指導 ・朝食摂取への指導